

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 16 日

事業所名: K-if

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10		活動のよって、室内・屋外を使い分けています。	活動内容や子どもの特性に応じて、より適切な対応ができるよう随時見直しをしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	10		毎朝清掃を行い、危険な物のチェックも行なっています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10		事業所の評価については、本評価表の結果だけでなく、独自の評価結果もホームページに公開しています。	第三者による外部評価については、体制を整えている段階です。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10		職員の資質向上の為に、研修計画を立て実施しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	7		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10			
適切な支援の指	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10		活動プログラムについては、曜日ごとにテーマを決めています。福祉レクレーションの考えに基づいてプログラムを作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10			
	12	放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10		プログラム内容に応じて、指導員・子どもと一緒に参加する機会も設けています。	
	13	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	10			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10		子どもの様子については、日々職員間で情報共有を行い、支援改善に繋がっています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10			
16	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10				

提供	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10			
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10			
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			
	21	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10			
	22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	10			
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	1	毎月、相談支援員に報告書を渡し、情報の共有をはかっています。	今後とも、保護者、相談支援事業所との情報共有を行い、適切な支援を実施できるよう心がけます。
	24	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10		日々の送迎時だけでなく、面談の機会も設けて、保護者との情報共有をはかっています。	
	25	就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	3		
	26	校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	3		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	4		
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	3		
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	10			
保	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10		保護者からの子育ての悩み等に対する相談等は、随時受け入れて対応しています。	感染予防の観点から、地域や保護者間の交流機会を設けられていないが、要望に応じて体制を整えていきたいと考えています。
	32	放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	10			
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			

保護者への説明責任等	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	9		
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10			
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10			
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	7		
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	2	服薬やアレルギーについては、必要に応じて保護者の申し出に対応しています。	やむを得ず身体拘束を行う可能性があることは、保護者へ説明しています。現在対象の子どもはいませんが、必要に応じて体制を整えます。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	3		
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10			
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	5		
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	1		

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。